

修験道の本拠地
新熊野山



指定区分	県指定史跡
読みかた	しんくまのさん
所在地	倉敷市林
指定年月日	昭和48年5月15日
解説	古くから熊野権現を中心に「五流修験」と呼ばれた修験道が栄えたところ。木見の諸興寺を新宮、熊野権現を本宮、由加山を那智宮として、紀州熊野三山になぞらえて新熊野山としたという。山で囲まれ閑静な環境の中に五流尊瀧院、熊野神社など数多くの建物や遺跡がある。
アクセス方法	水島ICから車で5分 / JR茶屋町駅から車で15分
公開状況	外観のみ
設備	<p>【P】乗用車30台。バスは25人乗りまでなら可。</p> <p>  駐車場  トイレ </p> <p>  障害者用駐車場  障害者用トイレ </p>
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	新熊野山
よみかた	しんくまのさん
しょざいち (所在地)	倉敷市林
していたひ (指定した日)	昭和48年5月15日
せつめい	世界遺産(せかいいさん)でもある紀州(きしゅう)の熊野三山(くまのさんざん)ににているため「新熊野山(しんくまのさん)」とよばれたといわれています。熊野三山にやどる神(かみ)さまをまつり、修行(しゅぎょう)が行われてきました。山で囲(かこ)まれた静(しず)かな場所(ばしょ)に神社(じんじゃ)などがあります。